



AUDIO CAR GALLERY AUDIO CAR GALLERY AUDIO CAR GALLERY AUDIO CAR GALLERY AUDIO CAR GALLERY AUDIO CAR GALLERY AUDIO CAR GALLERY AUDIO CAR GALLERY AUDIO CAR GALLERY

スポコンクラス

1位



電動技で強烈アピール!

▲スポコンクラスで1位に選ばれたボデイファクトリーヌマタのCR-X・デルソル。プロジェクトのライトを移植したり電動技を導入したアンブラックを作るなど内外装完璧っす!!

内外装を青と白で統一っ!!



2位

▲セカンドシートを外して、ライトニングオーディオのアンブやサブウーハーを搭載した伊藤サンのエクリプスは、ユニットに合わせて内外装を青と白で統一したのがポイント。



3位

▲レーシングハートのホイールやRE雨宮のエアロが個性的なRX-7を操る田中サンは、パワフルな音質が気に入りアンブとサブウーハーにオライオンを採用。ファイバーを駆使したリアのレイアウトなど見どころ満載。

▶三輪サンのRX-7は、ラケッジにフェニックスゴールドのサブウーハーをセッティングする。ファイバー&ペイントのフィニッシュもインパクト抜群。



▲アンブ、スピーカーカーをスポコンユーザーに人気のライトニング・オーディオで統一した平田サンのシビック。トランクを大胆に使ってユニットをセットする。



▲佐藤サンのシルビアは、セカンドシートの座席部分にオライオンのアンブ&サブウーハーを搭載する。オレンジのペイントとクロムのユニットを組み合わせ内装をコーディネートしているのだ。



セレブ御用達モデルであればあるほど、ただ外装を飾っておくだけでは物足りなさが残る。当然、快適なクルージング性能を高めて、クルマ本来の豪華さを手に入れておきたいところだ。そんな「ショーカールの要素」に、「実用性」を高次元でバランスさせたのがホットワイヤードで製作された'04年モデルというワケ。例えばショーカールの要素を顕著に誇示するカーゴスペース。サブウーハーにキッカー・ソロバリックS12L7×4発、そして同アンプのKXシリーズ×3基をファイバーワークでレイアウト。それも近未来的な流線形デザイン、そして内装色とのコーディネートを考えてシヤンパンゴールドでペイントするなど、ストップクのイメージを残したカスタムアレンジとなつている。なかでも、アンプのクーリングを考えて「水冷システム」を採用した点が興味深い。基本的には各アンプの電源部にアルミ製の水枕を設置し、ポンプで送られた水（ケミカル使用）を循環させる。ちなみに専用ラジエーターを設けているため、効率的な冷却効果が実現可能なのだという。

そして実用性といった点では、ラグジュアリー仕様に欠かせないモニター使いがキーポイントになつている。豪華にビジュアルソースを2系統確保しているが、ただDVDビデオの画像を映し出すだけではなく、ルームミラー部やインダッシュ部のモニターにCCDカメラを介して前方、後方、左右などの映像を映し出す安全設計になつているのだ。

見せて、聴いて、使つてよし！ 真の豪華さを手に入れるためには、三位一体の完成度が必要なんだよね。



ステレオ再生での要となるフロントスピーカーには、パワー感やスピード感をはじめ高音質を実現するためキッカーのハイエンドモデルであるSSシリーズ・SS65.2を採用。ミッドレンジのプロテクションデザインもおしゃれな逸品。



ヘッドユニットとプロセッサはアルパインのAVセンターナビ・INA-D300JN、同PKG-H701Sを採用。モニタータッチを覚えたら“病みつき状態”間違いなし。



2系統のビジュアルソースを設けることで、別々の画像を映し出すこともできるモニター群は7台構成。ヘッドレストモニターはタッチパネル式を採用し個々の操作性をアップした。



水冷式の加工を施したキッカーのアンプ×3基、そして同ソロバリック・S12L7×4発をカーゴスペースにレイアウト。ショーカールとしての“華やかさ”が凝縮したような変形デザインとなっている。

外装はストックのイメージを残し、クルマに乗る楽しみを追求した。それとは逆に内装はフルカスタム仕様となっている。



オーナー／
三輪洋輝サン(愛知県名古屋市)
ベースカー／
ハマー・H2 '04年型
製作ショップ／
ホットワイヤード
☎052-262-8831
PHOTO／御澤 徹

セレブ御用達の「HUMMER H2」3本勝負!!

5・1チャンネルを含む
サウンドアップのためにプロジェクトされた
”アンプ水冷システム“!!



フロント、センター、そしてリアと、各スピーカーはキッカー・KX650.4×2基を利用してマルチドライブ。ちなみに成形されたバッフル回りはカーゴスペースと同色化。



センタースピーカーもフロント同様のキッカー・SSシリーズを選択。5.1チャンネルシステムで、セリフなどの再生を担当する重要な役割を果たしているだけにハイエンドモデルの採用も納得だね。



アンプの冷却システムを考案したクルマと製作ショップのオーナー・三輪サン。同ショップはビッグスクーターなどへのオーディオにも精通している。

LUX
“L”
COLLE

AUDIO UNIT
ヘッドユニット／アルパイン・INA-D300JN
DVD/CDチェンジャー／アルパイン・DHA-S680
デジタルプロセッサ／アルパイン・PKG-H701S
アンプ／キッカー・KX650.4×2、同KX1200.1
F・スピーカー／キッカー・SS65.2
C・スピーカー／キッカー・SS65.2
サラウンドスピーカー／キッカー・K65
サブウーハー／キッカー・S12L7×4
C・ウーハー／キッカー・SS65.2

MONITOR UNIT
ヘッドレストモニター／アルパイン・TME-M770×2
F・センターモニター／ネックボックス・8インチワイド
バイザーモニター／ネックボックス・8インチワイド×2
フリップダウンモニター／ネックボックス・15インチワイド



FIRST STAGE